

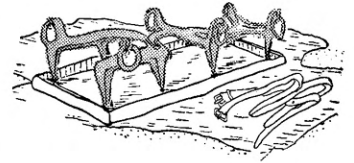
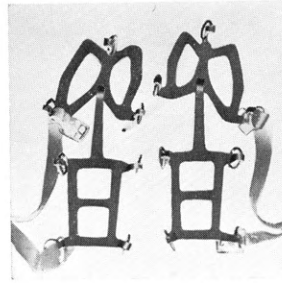
## 河床調査に アイゼンの利用

地質調査所では毎年継続して房総半島の地質調査を行っているが、房総の川は河床によく発達した砂岩や泥岩が露出しているために水面上に乗つたように足が滑る。ことに均一質の泥岩の所や水ごけの生えている場所では「ワラジ」をはいて注意していても流れの中に転倒することがしばしばある。

そこでこの解決策として、登山の時に使用する「アイゼン」を地下足袋の上からはけるように考案した試作品を作ってみた。

今年の調査における使用結果は良好で調査員が昨年転倒した場所でも、今度は滑る足に気をとられることなく、一日の調査能力も昨年よりはるかに能率的となつた。

このようにして約1ヵ月使用したところ、

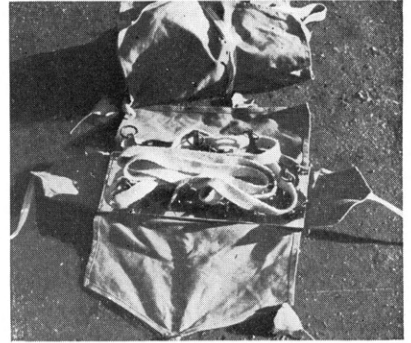


登山用アイゼン

← 調査用に改造されたアイゼン

バンドをかけるリングは前部（写真の上の部分）に3ヵ所、後部に4ヵ所あって、前部と後部は接続部で自由自在に曲るようになっている。バンドのかけ方は、前部のバンドで前部3ヵ所を結び、後部のバンドでは後部4ヵ所を結ぶ。

運搬のときに爪の先を保持したり、他の器物をいためぬよう、特に爪のあたる部分はアルミ板でできている。

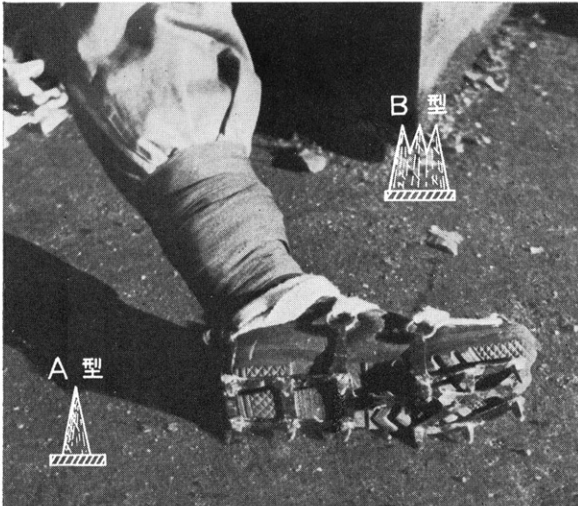


布製のケース

後半になると「アイゼン」の爪先が磨滅して滑るようになり、また地下足袋へ締めつけるバンドが切れ始めるとか、いろいろな欠点も生じてきたが、半月に1回程度の割合でアイゼンの爪先をといで手入れをすれば、きわめて好調に使用できるであろう。

(燃料部 石油課)

アイゼンの爪



爪は12本のもの、6本があり、爪の型によりA型とB型に分ける。調査地の岩質や期間によって適切なものを選ぶ。

地下足袋に装着したアイゼン



地下足袋の指のまたに入るリングは重要なもので斜面を昇り降りする時は特に役立つ。